

令和7（2025）年度 第78回栃木県中学校総合体育大会陸上競技大会要項  
（第52回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会）

1. 主催 栃木県中学校体育連盟 栃木県教育委員会 栃木県市町村教育委員会連合会  
(一財)栃木陸上競技協会
2. 後援 (公財)栃木県スポーツ協会 栃木県中学校長会
3. 期日 2025年7月22日(火)～23日(水) 22日(火) 競技開始8:45  
【予備日】7月24日(木) 23日(水) 競技開始8:45
4. 会場 カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)・投てき場
5. 種目 男子(26種目)  
1年 100m, 1500m, 走高跳, 走幅跳  
2年 100m, 200m, 1500m, 3000m, 110mH,  
走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投(5kg)  
3年 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m,  
110mH, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投(5kg)  
共通 4×100mR  
四種競技〈①110mH・②砲丸投(4kg)・③走高跳・④400m〉(1750点以上)  
  
女子(22種目)  
1年 100m, 800m, 走高跳, 走幅跳  
2年 100m, 200m, 800m, 1500m, 100mH,  
走高跳, 走幅跳, 砲丸投(2.721kg)  
3年 100m, 200m, 800m, 1500m, 100mH,  
走高跳, 走幅跳, 砲丸投(2.721kg)  
共通 4×100mR  
四種競技〈①100mH・②走高跳・③砲丸投(2.721kg)・④200m〉(1750点以上)  
  
オープン(6種目)  
1年男子棒高跳, 1年男子砲丸投(4kg), 共通男子円盤投(1.5kg),  
共通女子棒高跳, 1年女子砲丸投(2.721kg), 共通女子円盤投(1kg)
6. 参加資格 2025年(公財)日本陸上競技連盟登録者で, 下記の(1)から(2)のいずれかに該当する競技者。
  - (1) 中学校所属
    - ・栃木県中学校体育連盟に加盟している学校の生徒で, 学校長が参加を認めた競技者。

(2) 地域クラブ活動所属

- ・栃木県中学校体育連盟に認定された地域クラブ活動に所属する中学生の競技者。

(「参加特例」ならびに「参加特例細則」については、別に定める。)

7. 監督・引率

- (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校の教員・部活動指導員(※)とする。  
部活動指導員が引率・監督を務める場合は、部活動指導員【様式1・2】「部活動指導員確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、大会事務局に提出する。  
なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。なお、地域クラブ活動の引率・監督については、別に定める。  
※「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
- (2) 教員・部活動指導員が引率できず、学校設置者の承認のもと校長がやむを得ないと判断した場合に限り「栃木県中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が引率者として適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。  
外部指導者が引率・監督を務める場合は、外部指導者【様式1・2】「外部指導者確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、大会事務局に提出する。
- (3) 監督・引率の特例  
教員・部活動指導員・8 (2) 該当外部指導者が引率できず、学校設置者の承認のもと校長がやむを得ないと判断した場合に限り「栃木県中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が引率者として承認した保護者の引率を認める。ただしその場合は、当該の校長は当該競技専門部と協議し、監督・引率【様式1・2・3・4】をもって監督依頼をしなければならない。安易に保護者の引率、外部指導者の引率及び監督を認めるものではない。
- (4) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ・暴言等により任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当しない者であることとする。さらに、指導者が校長(代表者)から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長(代表者)はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

8. 競技方法

- (1) 対抗戦については、「学校対抗の部」の形式(男女別)とする。  
(「クラブ対抗」は実施しない。)
- (2) 得点は1位8点～8位1点とする。ただし、四種競技とオープン種目は得点に入れない。
- (3) 合計得点により男女別順位を決定する。同点の場合は、上位入賞者の多い学校(団体)を上位とする。
- (4) 規則は2025年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規則による。

9. 参加制限
- (1) 1人2種目以内（4×100mR、四種競技、オープンを除く）とする。4×100mRは1団体1チーム（団体単独チーム）とする。
  - (2) 学年別種目は、該当学年の生徒に限る。
  - (3) 共通種目は、全学年とする。
  - (4) 個人種目と4×100mRにおいて、異なる所属で出場することはできない。
  - (5) 四種競技以外は、各地区予選会を通過した上位3位までの競技者・チーム。
  - (6) 四種競技は、各地区予選会を通過した上位1名と男女とも1750点の参加標準記録を突破した競技者。（期間は2024年5月から2025年の地区予選会までとする。）
  - (7) オープンの1年男子棒高跳、共通男子円盤投、共通女子棒高跳、共通女子円盤投への参加標準記録は次のとおりとする。

男子		女子	
種目	記録	種目	記録
1年棒高跳	2m00	共通棒高跳	1m50
共通円盤投	20m00	共通円盤投	15m00

- (8) オープンの1年男子砲丸投、1年女子砲丸投への参加制限は、各地区3名以内とする。

10. 表彰
- (1) 総合…「学校対抗の部」には、男女別優勝校に優勝旗と優勝杯、3位までの学校に賞状を授与する。また、男女別学年別優勝校に賞状を授与する。  
（「クラブ対抗の部」の表彰はしない）
  - (2) 個人…8位までに賞状を授与する。4×100mRは、3位までのチームには5枚、4位から8位までのチームには1枚とする。
  - (3) オープン種目は対象としない。

11. 申込手順
- (1) 各団体の監督は、7月8日（火）までに（公財）日本陸上競技連盟のエントリーシステムを利用してエントリー作業を行う。

<https://athleticfamily.jaaf.or.jp/user/login/>

- (2) 各地区の専門委員は、7月10日（木）のプログラム編成会議までに、各団体から1部提出された様式1（大会参加申込書）を競技委員長に提出する。
- (3) 様式1（大会参加申込書）には、次の一文を必ず入れ、記載の同意が得られない場合はその旨を明らかにすること。  
『本大会のプログラム及び報道発表並びにホームページ、記録速報、記録集、会報における氏名・学校名・学年・写真等の掲載については、本人及び保護者の同意を得ています。』

12. 代表者会議
- (1) 日時 2025年7月10日（木）11:00～
  - (2) 場所 下野市立石橋中学校
  - (3) 専門委員1名は、各校の申込書を持参し必ず出席すること。競技役員は各地区10名以上協力のこと。
  - (4) 地域クラブ活動の代表者は、申込書を持参し必ず出席すること。

13. 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会への参加資格

本大会において全国大会参加標準記録を突破した競技者は、全国大会の出場資格を得る。ただし、栃木県中学校体育連盟に加盟している学校所属、または、県内学校に在籍し、栃木県中学校体育連盟に認定された地域クラブ活動の所属で出場していること。

※ 追風参考記録は対象としない。

14. 安全対策 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟「危機管理マニュアル及びEAPシート」に則り適切に対応する。

15. その他 (1) 原則として、期日は延長しないものとし、下記の条件に従って主催者側で決定し、7月23日(水)には終了する。

① 状況に応じて、競技日程を変更したり、競技を中止したりする場合がある。

② フィールド種目は全員が終了したラウンドや高さで順位を決定する場合がある。

(2) スパイクのピンは、グラウンド保全のため全天候型のピンを使用する。

(3) 競技中に発生した障害疾病については、主催者において救急処置は行うが、以後の責任は負わない。

(4) 競技場内(練習会場も含む)に商社名、商品名のついた物品を持ち込むことはできない。

(5) 各地区の専門部員、強化委員は、本大会の審判を行うこと。

(6) 参加団体は1名以上の競技役員を登録すること。

(7) 会場等の都合で、オープン種目を実施できない場合もある。

2025.6.1 (第4訂)